

# ☆☆☆☆ 「子どもと教育を考える新春のつどい 2012」 ☆☆☆☆



と き : 2012年1月21日 (土) 13:30~16:00 (開場受付13:00~)  
と ころ : かでる2・7 1030号室 (中央区北2条西7丁目)  
資料代 : 500円 (会員300円)



## 講演会 「大阪府民は何を求めたのか」 ～教育基本条例は子どもの最善の利益をもたらすか～

講師 : 丹羽 徹 さん (大阪経済法科大学 教授)



### 【丹羽さんの主な著書】

- \* 「心 (こころ) のノート」と子どもの権利、法学セミナー
- \* 『自由・平等・民主主義と憲法学』(共編)、大阪経済法科大学出版部
- \* フランス公教育における共和主義の変容——外国人の教育とライセンスの現代化についての一考察——、森英樹編・市民的公共圏形成の可能性 (日本評論社・2003年)所収

丹羽さんは多くのみなさんがご存じの憲法学者長谷川正安さんのお弟子さんだそうです。気さくな人柄で庶民思い。「80年代半ばから研究生活に入り、子どもの権利を中心にその活動を行っています。年々子どもが置かれている状況が悪くなっています。それらを法の視点から多少なりとも改善できる手立てはないか、悩みは増すばかりです」とのコメントも。

- ◎大阪でいま何が起きているのか？
- ◎橋下・維新の会がすすめる「教育基本条例」「職員条例」って何？
- ◎大阪府民は「橋下改革＝都構想」、「教育基本・職員条例」をどう受け止めたか？
- ◎「教育基本条例」で子どもを大切にできる学校と社会はできるのか？
- ◎子ども・大人(府民・市民)の権利は守られるのか？
- ◎子どもにとって最善の利益となり得るのか？
- ◎堺市では否決されたと言うが全国へ波及するのが心配？
- ◎子どもの権利条約「第3回最終勧告」からどうとらえたらよいか？
- ◎わたしたちにできることは？

大阪ダブル選挙戦から様々な疑問・不安・怒りが湧き上がってきます。

「新春のつどい」では、憲法学と教育学そして子どもの権利を研究・実践されている丹羽さんからじっくりと話を聞き、学習・交流します。

是非、ご参加ください。  
まわりの方々にもご案内ください。



## 主催 子どもと教育・文化 道民の会

共同代表 姉崎洋一 (北大) 加藤多一 (童話作家) 河野和枝 (北星大)  
連絡先 中央区大通西12丁目 090-9523-4396事務局柳)

